

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所 フータル岸和田		
○保護者評価実施期間	2026年1月12日		～ 2026年 2月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		～ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができているか	・アセスメント、保護者のニーズを聞き取り、理解を深めている。 ・送迎時、LINE、HUG等を利用して、利用児の様子を話している	定期的に計画案の見直しを行い、スタッフ間、保護者、相談支援者等と共有し、認識がずれないように支援を行っている。
2	・ひとり一人に寄り添った支援 ・就学に向けた個別課題の強化	・個別支援計画や利用児の様子をみて、課題を作成している。 ・就学に向けて、個別課題や学習を行い、保護者からのニーズに合わせた学習も併せて行っている。	・今後も保護者のニーズを聞き取り、学習支援に落とし込んでいく。 ・就学前だけでなく、年中、年少にも成長に合わせた支援を積極的にこなしていく。
3	・子どものことを十分に理解した個別支援計画書と保護者への説明	・担当者会議に積極的に参加している。 ・アセスメントを丁寧にとり、スタッフ間での支援方法の方向性を共有している。	・モニタリング時だけでなく必要な際には面談を行い、保育園等への訪問や担当者会議を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所では、非常災害の発生への備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われている。	・訓練の頻度や実施期間が明確でなく不十分である。 ・保護者への周知が弱いという声があった	・訓練の頻度や実施期間を明確にする。 ・訓練を行った際の保護者への周知をSNSを使うなどして強化する。 ・避難の際の階段の降り方などの練習をおこない、緊急時の対応を明確にする。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	・保護者同士の交流する機会がすくない ・日時の告知が遅いという声があった	・保護者のニーズを聞き、参加しやすい日時や参加してみたい内容など保護者の意向を取り入れたいと思います。 ・保護者が参加しやすいように告知を早めに行うようにする。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	・家族等が参加できる研修会を行っていない。 ・情報提供としてSNSなどで発信が不十分である。	・保護者のニーズや参加してみたい内容など意向を聞き、研修会の実施について前向きに考えたいと思います。 ・現在、SNSの発信が不十分との声があるので、改善したいと思っています。